

# パラメータ座標系チュートリアル

パラメータ座標系\_チュートリアル.zip



## パラメータ座標系\_概要

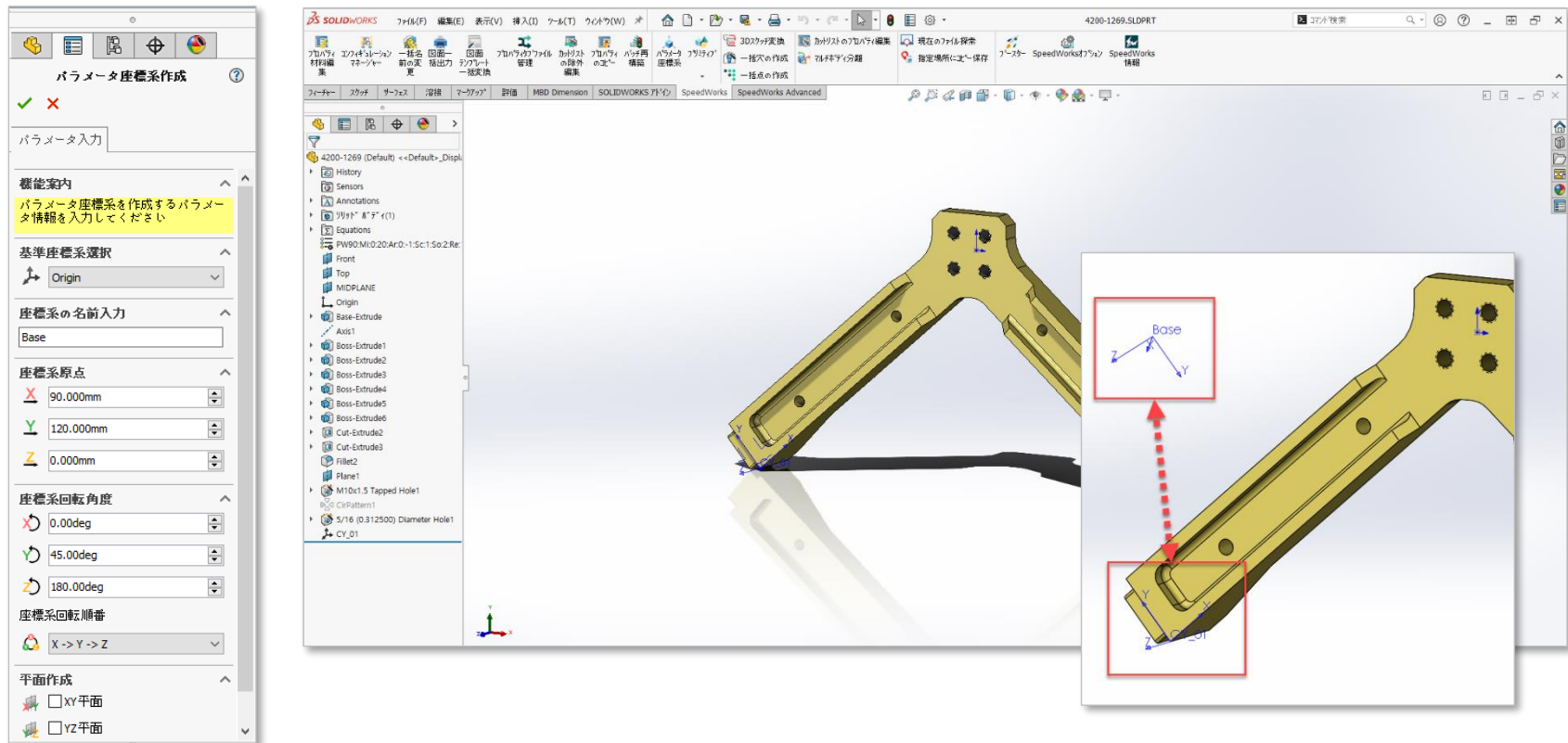
## 主な機能

- ▶ パラメータ情報基盤の座標系を作成
- ▶ 座標系の移動、回転機能を提供
- ▶ 座標系、参照平面も同時に作成可能

## 業務効果

- ▶ 座標系作成のためのスケッチ作業がいなくなり、作業時間を短縮
- ▶ 特定の座標系を選択し、位置や回転情報を参照して新しい座標系が作成できる

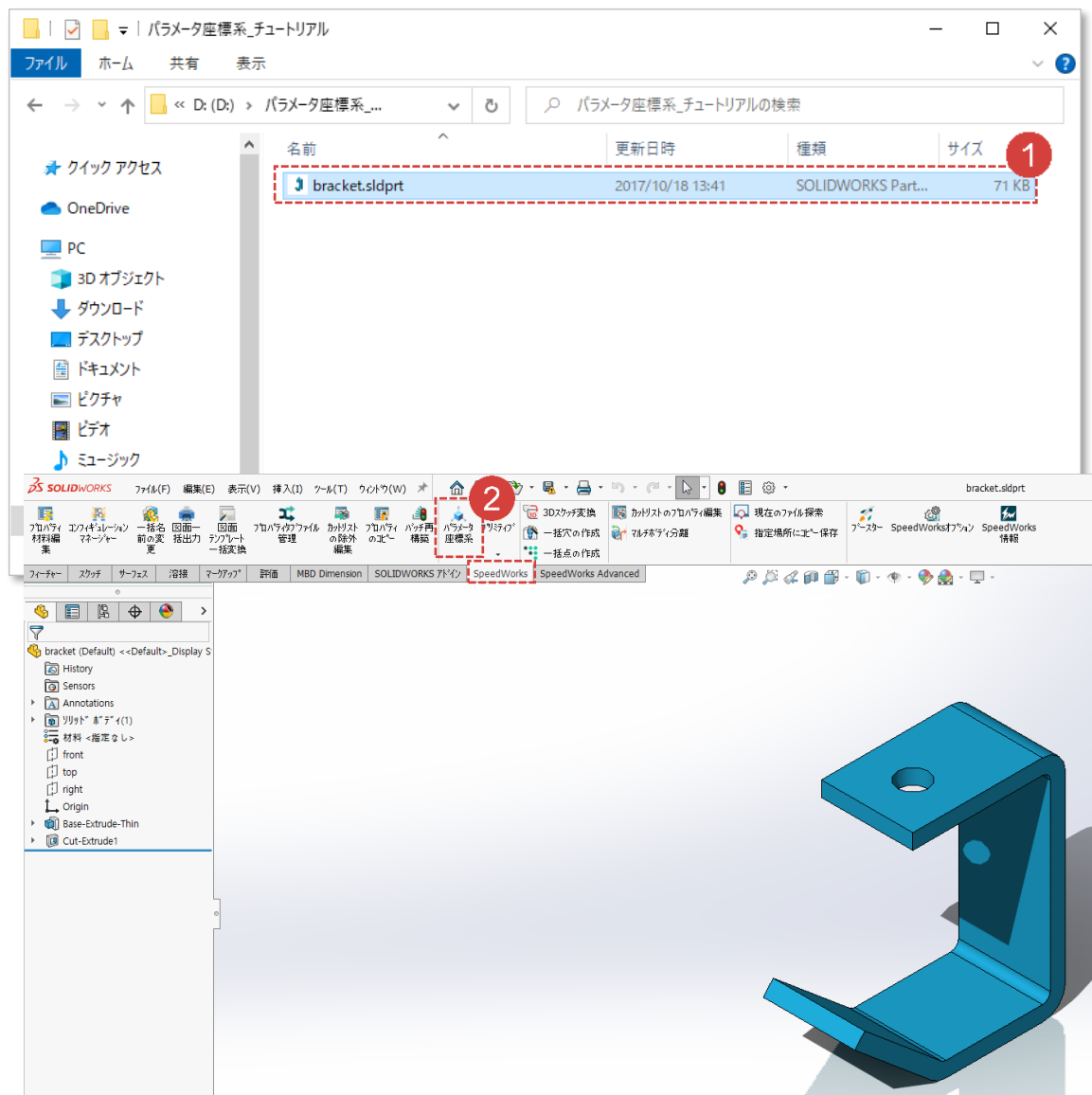
## 🎯 レッスン目標：レッスンを真似しながらパラメータ座標系の使用法を学ぶ



## パラメータ座標系\_実行

① 例題のファイル**bracket.sldprt**ダブルクリックして実行します。

② [SpeedWorks]タブ- [パラメータ座標系] を押してツールを実行します。



※例題ファイルは、SpeedWorksホームページのお客様サポート  
>資料室 (<http://www.speedworks.info>) でダウンロードできます。

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。  
黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

① [基準座標系選択]から'Origin'を選択します。

② [座標系の名前入力]から'座標系-1'を入力します。

③ [座標系原点]を下ののように調整します。

[X 座標]: 0mm

[Y 座標]: 27.484mm

[Z 座標]: 77.216mm

④ [座標系回転角度]を下ののように調整します。

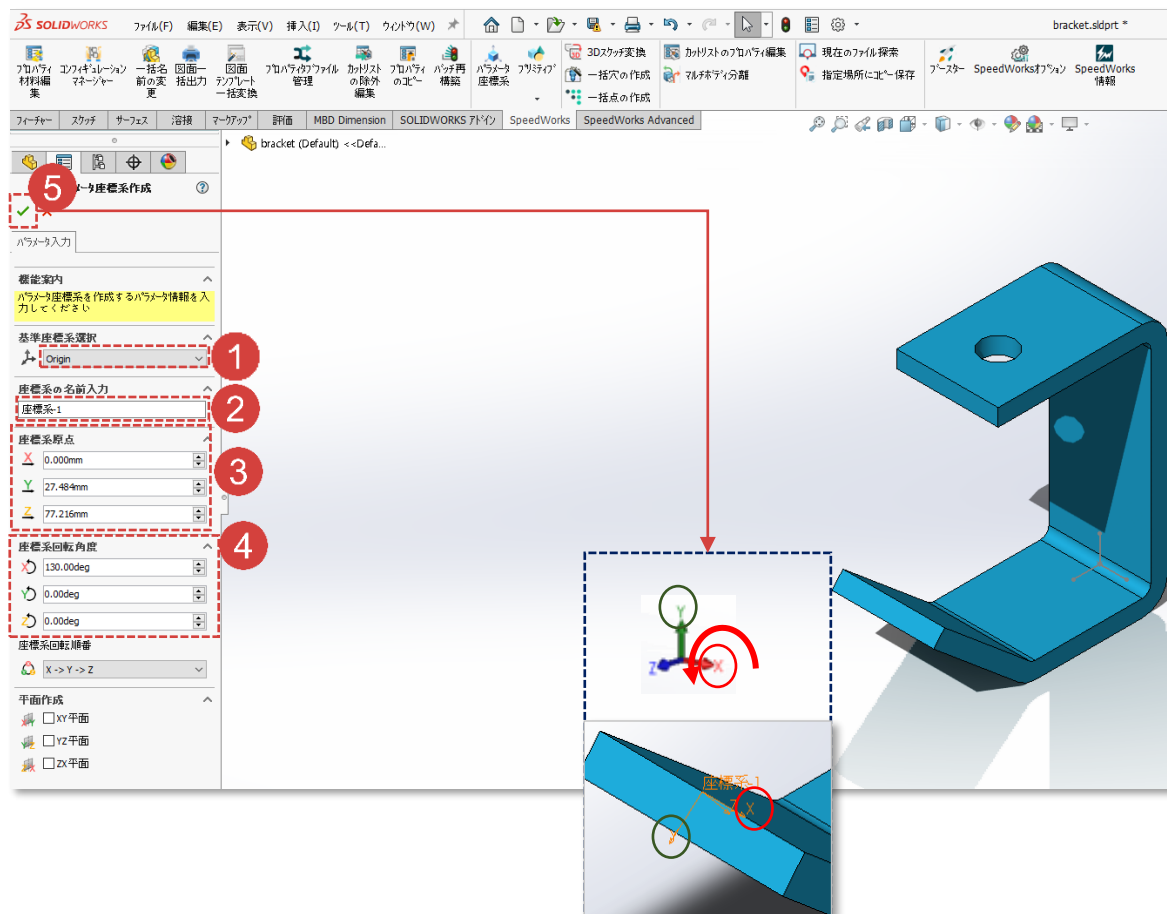
[X軸]: 130度

[Y軸]: 0度

[Z軸]: 0度

⑤ [OK] ボタンをクリックして座標系を作成します。

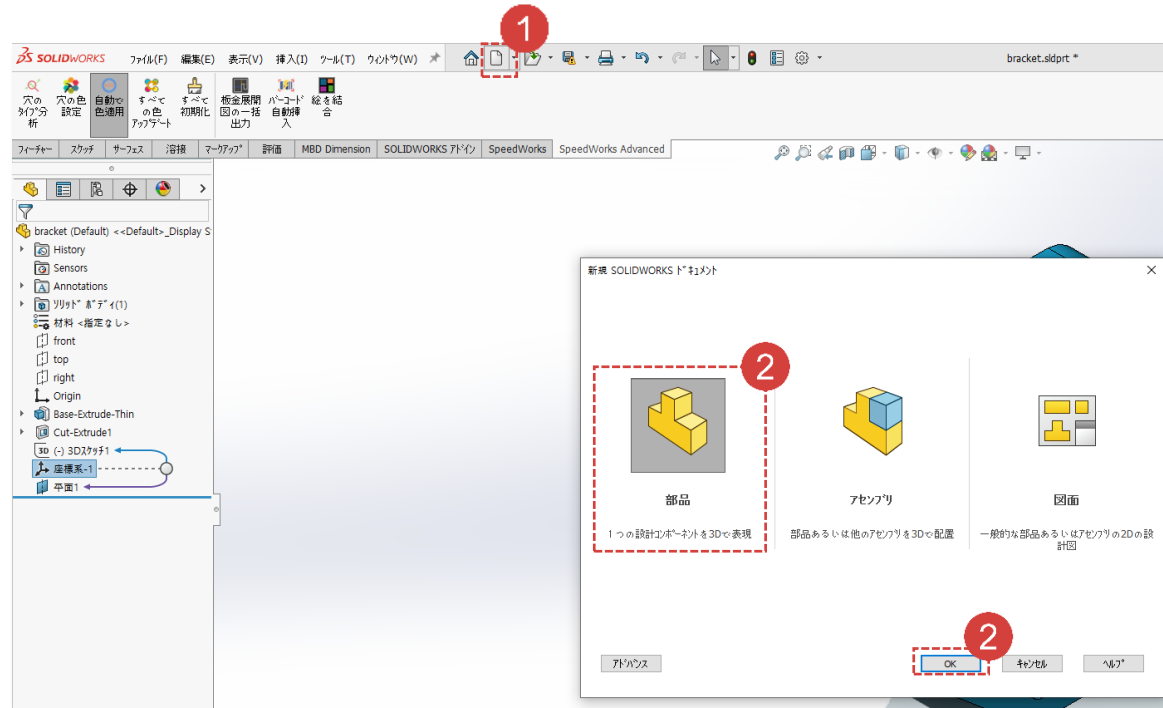
① (0,27.494,77.216) 位置にX軸に対して130度回転した座標系が作成されます。このように特定のモデルに座標系を配置しにくいところに座標系を簡単に作成することができます。



## パラメータ座標系\_新しい部品の作成

赤色の(1)で表示した部分を説明に沿って直接行います。  
 黒の四角形(2)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。

- ① 座標系の作成時、軸の回転順番によって成果物が異なります。該当の事項を確認するために、SOLIDWORKS 上の[SOLIDWORKS 新しいドキュメント]をクリックします。
- ② [部品]を選択し、[OK]を押して新しい空部品を作成します。



## パラメータ座標系\_座標系回転の比較

① [座標系の名前入力]に'xyz'を入力します。

② [座標系回転角度]に各々'30.00度'を入力します。

③ [座標系回転角度]を[X->Y->Z]選択します。

④ [OK]ボタンをクリックして座標系を作成します。

(続いてパラメータ座標系を実行します。)

⑤ [座標系の名前入力]に'yxz'を入力します。

⑥ [座標系回転角度]に各々'30.00度'を入力します。

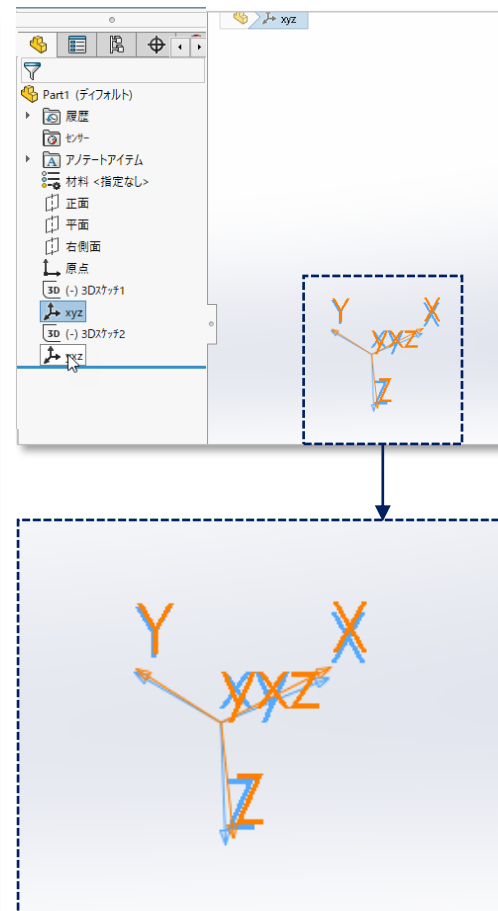
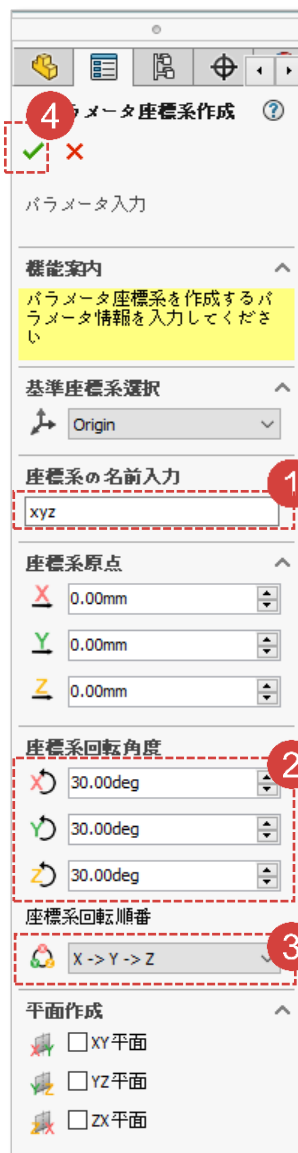
⑦ [座標系回転角度]を[Y->X->Z]選択します。

⑧ [OK]ボタンをクリックして座標系を作成します。

⑨ 新しく作成した'xyz'座標系を押して青色のハイライトが表示されるようにします。

⑩ その後、'yxz'座標系をクリックせずにマウスカーソルのみ置きます。座標系が黄色で表示されます。

⑪ 'xyz'座標系と'yxz'座標系が重ならないことがわかります。御覧のように、座標系の回転が2個以上の場合には座標系の回転順番によって結果値が異なります。ご注意ください。



赤色の(①)で表示した部分を説明に沿って直接行います。  
黒の四角形(⑪)で表示した部分は追加説明及び参考事項です。